下水道管路施設調查報告書記載要領

1. 一般事項

- (1) 報告書は、本要領に従い、作成すること。
- (2) 様式はA4判横書きとし、図面は、縮尺、寸法を明記し、製本すること。
- (3) 表紙は、調査年度、調査番号、調査件名、調査期間、発注者名、受注者 名等を記入する。

また、背表紙にも調査年度、調査番号、調査件名、受注者等を記入すること。

2. 記載事項

報告書は、下記の事項について、内容を明記すること。

- (1) 本管テレビカメラ調査
 - ①調査目的
 - ②調査概要
 - ③案内図
 - ④調査箇所図
 - ⑤調査総括表(表-1)
 - ⑥調査集計表(表-2)
 - ⑦調査記録表(表-3,4)
 - ⑧考察
 - ⑨調査記録写真
- (2) 目視調査

本管テレビカメラ調査項目に準ずる。

(3) 取付管調査

本管テレビカメラ調査項目に準ずる。

表-1 調査総括表

No.

					上》	元 マン								きょ								下	流マンホ・	ール	
No	Þ	Z ji	画	メッ	シュ	番	号	マンホール 種 別	マンホール深	上流管頂深	管 種	管 径	マンホール間延長	管本数	ソケット数	DVD番号	写真番号	下流管頂深	区	画	メ	ッシュ	番号	マンホール 種 別	マンホール深
																				Ш					
																				Ш					
-																									
-	\sqcup		-																	\perp					
	Н																			H					
	Н																			\vdash					
	Н		-																	\vdash	-				
																				\vdash					
	Н		+																						
	Н		+																	H					
	П																								
	Ħ																			$\dagger \dagger$					

表-2 調 査 集 計 表

管の 管の 管の 侵入水 破損 クラック 継手ずれ 取付管
突出し油脂の
付着木の根の
侵入モルタル
付着計 管の 上下方向 腐食 のたるみ 上流マンホール番号 下流マンホール番号 道路種別 マンホール 間 DVD或 管径 (mm) 管種 管本数 (本) 校 A B C A B C a b c a b は 延長(m) 写真番号 No. 区画 メッシュ 番号 枝 区画 メッシュ 番号

No.

表一3 本管用調査記録表

上流マンホールNo. 下流マンホールNo. スパン番号 マンホールマンホール マンホール マンホール マンホールマンホール マンホール 土被り 枝 番号 枝 番号 区画 メッシュ 管種 管径 区画 メッシュ 土被り 蓋種別 種別 深 間延長 種別 深 蓋種別 継手番号 管口 2 3 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30 管口 管本数 本] 写真番号 ソケット数 箇所] 管不良数 本] DVD番号 番] 内容 番号 布設年度 年] 7 10 11 12 13 14 15 | 16 | 17 | 18 | 19 | 20 | 21 | 22 | 23 | 24 | 25 占用位置 1 2 3 4 5 6 8 9 26 27 28 29 30 31 管番号 1.国道、県道 写真番号 主要市道の車線 2.裏通り、歩道内 ガードレール内 3.上記以外 該当番号 内容 取付番号 写真番号 内容

	異常内容	管の腐食			上下 方向の たるみ			管の 破損			管の クラック			管の 継手の ずれ			侵入水			取付管 の突出 し			泪	油脂の 付着			樹木根 侵入			モルタル 付着						計		備考	
1	異常箇所	A	В	С	Α	В	С	a	b	c	a	b	c	a	b	с	a	b	С	a	b	с	a	b	c	a	b	с	a	b	c	A	. •	a	В	• b	С·с		
ſ																																							
	継手部 本管部 ソケット部																																						
	ソケット部																																						
	計																																						

注1 考察欄には、管路施設の損傷状況に加え、道路交通概況生活環境概況、近接工事、損傷原因、損傷の進行性、損傷の新旧等について記述すること。

注2 計()内の数値は、スパン全体で評価する「管の腐食」、「上下方向のたるみ」、清掃等で除去可能な「樹木根の侵入」及び「取付管の突出し」を除いたものである。

表-4 ます及び取付管用調査記録表

																																				No.				
上流マンホー	ル		区画	- 7	メッシュ	番	号	支																									下流マン	ンホール	,	区區	ij	メッシュ	番号	枝
ます番																																								
調査距離(n		_		_		_		_				_		_												_						_		-		ļ				
管本	銰	_		-				_		-		_		_		_				_				-								+		-						
ま	す																																							
容 左 取付管																																								
取付管管																																								
取付管管		_		_						_				_										_								_		<u> </u>						
写真番	方																							_								_ _				DVD番	:号		[巻]
																																				カウンタ		÷	()
ま す 番 調査距離(n		_		-		_		4		_		_		4		_		_		_		4		-		-		+		-		-		-		占用位1.国道	.直 、県道.	主要市	道の車線	į
調宜起離(n		_		-				_		-		_		_		_				_				-								+		-		2.裏通	り、歩道	内、ガー	ドレーノ	ク内
H 7	**	-		+				-		+		-		$^+$		+				+		+		+		-		+		+		+		+		3.上記.	以外			
ま	す																																			該当番	号			番
容 取付管																																								
1則																																								
取付管管取付管管		_		_				_		_				_		_				_				_				_				_		-						
写真番				+				+		_				+		-				-				_				+				+								
考 察																																								
ます		- 1																																						
異常内容						ます蓋	受け	卆													側	塊																		
田冶体式	_	い・ガク				・劣化	+	藍の摩	_		蓋裏針	_		腐食	_		破技	_	+	クラッ	_		則塊・ズ	_	-	浸入水	-		*根の											
異常箇所 左 側	A	В	С	A	В	С	a	b	С	a	b	С	a	b	с	a	b	С	a	b	С	a	b	с	a	b	с	a	b	c										
右 側																																								
計		l					1		<u> </u>	<u> </u>	<u> </u>	ritr	塊		<u> </u>	<u> </u>							<u> </u>	l	110	対行管	(Bil		宅内側											
異常内容		腐食			破損			クラック	7	Æ	医塊・2			浸入7	k	樹	木根の)侵入	油脂	旨・モル 砂笠σ	レタル・	イン	ベートの	状況	_	口のス			七円便			まっ	す計				備	考		
異常箇所	A	В	C	A	В	C	a	b	с	a	b	с	a	b	c	a	b	c		-		a	b	с	a	b	с	a	b	c	Α ·	аВ	3 · b	С с						
左 側 右 側												\vdash	1			-			-	\vdash					\vdash															
計							Ì																																	
取付管	۸-	randr.	. 1	1.7	darta e			fr on the	10		on h-		Agter -	n side or		1	/= ¬	-J.	TIL. /	L MA	atrilii	5.4	utilis as 7	Lake	141 1	alta es i	r= - 1	_	. ha f.'	dela	ı	Tile / !	LAAr ==1	ı	ı					
異常内容	_	5の腐1	_			たるみ	+	ぎの破			のクラ		+	り継手	_		侵入	_	+	_	突出し		脂の付	_	-	<根の(-		りりん付		ļ. —		十管 計				備	考		
異常箇所 左 側	a	b	с	a	b	с	a	b	С	a	b	С	a	b	С	a	b	С	a	b	С	a	b	С	a	b	с	a	b	c	Α ·	аВ	3 · b	ССС						
右 側																																								
計																																								

注1 考察欄には、管路施設の損傷状況に加え、道路交通概況生活環境概況、近接工事、損傷原因、損傷の進行性、損傷の新旧等について記述すること。

注2 計()内の数値は、スペン全体で評価する「管の腐食」、「上下方向のたるみ」、清掃等で除去可能な「樹木根の侵入」及び「取付管の突出し」を除いたものである。